

平成 30 年度第 1 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 30 年 5 月 12 日（土） 9 時 30 分～12 時 30 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 出席者 平成 30 年度青森市子ども会議委員 21 名（欠席者 8 名）
青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員 1 名
市長、事務局 7 名
- 4 次第
 - 1 開会
 - 2 子ども会議委員自己紹介
 - 3 市長から激励のことば
 - 4 事務局職員紹介
 - 5 アイスブレイクタイム
 - 6 今年度の活動内容説明
 - 7 子どもの祭典準備
 - 8 閉会

5 開催概要

今年度も子ども会議が始まりました。今回の子ども会議委員は 29 名（小学生 5 名、中学生 9 名、高校生 15 名）の児童生徒が参加し、これから一年間、委員として青森市のまちづくりなどについて様々な活動を行う予定です。また、子どもたちの活動のサポート役となる子どもサポーターとして、今年度も 4 名の社会人・大学生の方々が参加します。

まずは、子ども会議の活動について、パワーポイントを使って紹介しました。

青森市子ども会議とは

子ども会議は、“子どもの立場から”まちづくりをはじめ、市政などに子どもが意見を表明し、参加する場として、小学校 5 年生から高等学校 3 年生までの子どもで構成された会です。

主な活動は、7 月の『子どもの祭典』や 8 月の『ねぶた祭』などでの子どもの権利の普及啓発活動と、11 月の子ども会議フォーラムで行う研究成果発表のためのグループ調査活動です。

去年は、

- ・郷土料理・特産品を研究し、地域への貢献を目指したグループ
- ・子どもを取り巻く環境の改善のため、主に公園の調査研究を行ったグループ
- ・子どもの遊び場を確保するため、運動イベントを行ったグループ

の 3 つのグループで活動しました。

そのほか去年は、もっと青森を好きになるために、知っているようで知らない私たちの故郷青森市について学ぶための「冬季バス遠足」を行いました。

今年も新たに入った仲間みなさんと仲良く、活発に意見を交わしながらも肩をとり合って、僕たちの青森市が素敵な住みよい豊かなまちになるように、まず僕たち自身がチャレンジして活動して行きたいと思っています。



次に、子ども会議委員から、自己紹介や会議への抱負などを発表してもらいました。

子ども会議委員からの抱負など

- ・ 昨年は子ども会議主催の第1回運動イベントをやったので、今年もぜひやりたい。ねぶた参加イベントが楽しみです。
- ・ 知識や見識を深めながら、子どもにとってよいまちづくりなどを考えていきたい。
- ・ 普段なかなか関わることのできない、他校の子や異なる学年の子たちと交流しながら、楽しく活動していきたいです。
- ・ 昨年お姉ちゃんが活動の中で、トマトの新しい品種の調査などをしたいと言っていたので、僕もそれをやりたい。
- ・ もともと政治や地方自治に興味があるので、それらの勉強になる活動をしたい。
- ・ これからの様々な経験の中から、青森のまちづくりに貢献できるようがんばりたい。



続いて、小野寺市長から今年度の子ども会議委員に対し、激励のことばをいただきました。

市長あいさつ

子ども会議にたくさん集まっただき本当にありがとうございます。

私は、子ども会議は2つのいいところがあると思っています。

1つめは、自分の住んでいる青森市について話し合うところ。それを直接、市に伝えられる貴重な機会となること。

2つめは、先程委員の子が話してくれましたが、普段学校ではない、他にも機会のない、小学生から高校生までが一緒になって、学年、学校、年齢を越えた貴重な交流の場を得られることです。

お菓子を食べられる、差し入れがあるなどという話もありましたが、肩肘を張らず、楽しく活動して欲しいと思います。

委員のみなさんへの期待として、昨年は子ども会議フォーラムを市議会議場という青森市で最も格式の高い、会議をする場として最も豪華な場所で行ったので、今年も議場でやってほしいと思います。また、3月の活動報告については、これまでは私への報告会となっていました。私だけで独占するのはもったいないので、今年度はもっと沢山の方々に届くような仕組みを事務局に考えてもらっています。

昨年に続き、様々な活動を通じて、青森市の良いところをみんなで探して、学んで、自分たちにできることは実践し、それらを通じて発表するところまで結び付けてほしいと思います。

どうぞよろしくをお願いします。



休憩後、子ども会議の活動をサポートしていく児童福祉専門分科会会長や事務局職員から自己紹介があり、その後、初めて顔を合わせる子ども会議委員の交流を深めてもらうため、子ども会議委員の司会進行によるアイスブレイクタイムを設けました。

アイスブレイクタイムでは、

- ・8人ぐらいのグループに分かれ、1人目「〇〇が好きな▲▲です。」2人目「〇〇が好きな▲▲さんの隣の、□□が好きな◆◆です。」3人目「〇〇が好きな▲▲さんの隣の、□□が好きな◆◆さんの隣の、～～が好きな～～です。」をどんどん繋げていく名前リレーのゲーム

- ・言葉を使わずにジェスチャーのみで誕生日順に並ぶことができるかを競うゲーム

- ・椅子を人数分よりひとつ少なく円に並べて、鬼が「めがねをかけている人」などの特徴を挙げて、合致する人が席替えをしなければならない、いわゆるフルーツバスケットなどを行いました。

子どもたちが交代しながらの司会進行により、打ち解けやすい雰囲気になり緊張もほぐれていきました。



この後、今年度の子ども会議の活動内容について事務局から説明があり、最後に7月1日(日)に浪岡総合公園で開催される「子どもの祭典」での活動内容の案出し、打ち合わせを行いました。

昨年実施した、けんりはかせのスタンプクイズラリーのほか、バルーンアートやスライム作り、水鉄砲の的あてゲームなどの案が出ました。次回これらの詳細を検討します。

これで今回の子ども会議は終了となりました。



次回の会議では、引き続き「子どもの祭典」での活動内容の話し合い、準備のほか、今年度のねぶた祭などの活動で着用するTシャツのデザインの決定などを行う予定です。